

2023年3月版

# **DT-01+**

**DAYTONATALK SERIES  
WIRELESS INTERCOM**

## **取扱説明書**

商品No.25028

この度は、デイトナ製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。取り扱い説明書をよくお読みのうえ正しく安全におつかいください。この取り扱い説明書は、大切に保管してください。

**DAYTONA<sup>®</sup>**

# 目次

## 確認事項

安全上のご注意 .....	4
本製品の特徴 .....	10
商品内容	
構成部品 .....	11
各部名称と機能 .....	13

## 1 使用前の準備

準備	
充電を行う .....	14
電源のON/OFF .....	15
取り付け	
取り付け前の確認 .....	16
ヘルメットへ取り付ける .....	18

## 基本的な使い方

ペアリングとは .....	24
Bluetooth機器ペアリング	
スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする..	25
スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する .....	26
DT-01+ 同士のペアリング	
DT-01+同士でペアリングする .....	27
2人モードでペアリングする .....	28
4人モードでペアリングする .....	30
6人モードでペアリングする .....	32
他種/他社インカムペアリング	
他種/他社インカムとペアリングする .....	34
他種/他社インカムと1対1でペアリングする .....	35
他種/他社インカムと2対2でペアリングする .....	37
インカム通話	
インカム通話を開始/終了する .....	40

## 便利な使い方

電話を使う .....	42
音楽を楽しむ .....	44
ナビやレーダーの音声を聴く .....	45

機能

バックグラウンドミュージック機能 .....	46
ミュージックシェア機能 .....	48
音声認識機能 (Siri) .....	50
Gセンサー機能 .....	50

ファームウェアアップデートと機能調整 .....	51
設定ツールダウンロード .....	52
ファームウェアダウンロード .....	53
ファームウェアアップデート .....	54
機能調整 .....	56

その他	
アナウンス音量調整 .....	58
バッテリー残量アナウンス .....	59
各種リセット方法 .....	60
プロファイルとは .....	61
補修品・オプション .....	62
LED点灯パターンと操作 .....	64

「故障かな？」と思ったら .....	66
製品仕様 .....	67
さくいん .....	68
保証書 .....	70
保証規定 .....	71

- 「Bluetooth<sup>®</sup>」は、Bluetooth SIG,Inc. の登録商標であり、DAYTONA はライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Siri は Apple Inc. の商標です。

## ■ご使用前に必ずご確認ください■

- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用したことによる事故や損害について、当社は一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、大切に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 <b>危険</b>	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る差し迫った危険が想定される場合を示してあります。
 <b>警告</b>	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 <b>注意</b>	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	 水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。

 警告

禁止

- 航空機内、空港敷地内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください。(電源も入れないでください。) 運行の安全、無線局の運用や放送受信に支障をきたしたり、医療機器が故障、誤動作する原因となります。
- 病院等の医療機関では電源を切ってください。医療向け計測器、心臓ペースメーカー等の近くでは使用しないでください。医療機器へ悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 大音量で使用しないでください。周囲の交通の音が聞こえる音量でご使用ください。事故の原因になる恐れがあります。
- 雷が聞こえたたら、DT-01+の電源を OFF にして、速やかに安全な場所に避難してください。落雷に遭う恐れがあります。



分解禁止

- 分解、改造、修理をしないでください。火災、怪我、感電、故障の原因となります。修理の場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

## ⚠️注意



実施

- 使用中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などが発生した場合は、ただちに使用を中止し、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 高温多湿な場所や熱源の近くで使用しないでください。本体の変形から、発熱、発火、破裂、感電、につながる恐れがあります。
- 音量は控え目の設定を心がけてください。大音量での使用は、難聴の原因や鼓膜の損傷につながる恐れがあります。
- 外気温が低いとき室外から室内へ移動すると、本体内部に結露が発生することがあります。その状態のまま使用すると、発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- 自動ドアや火災報知機付近での使用は控えてください。自動ドアや火災報知機誤作動の原因になります。
- 本商品の電波が他の通信機器等に影響を与えている場合、ただちに電源を切り、影響を与えない場所をご利用ください。
- 本体は走行中に落下しないようにヘルメットへ確実に取り付けをしてください。
- 本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 油類等を付着させないでください。ガソリンやオイル等が付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
- 本体ケーブル、マイクフレキシブル部分には無理な力をかけないでください。可動範囲には限度があり、無理に力をかけると破損や故障の原因となります。
- 本体に手を掛けてヘルメットを持ち運ばないでください。本体が破損するばかりでなく、本体が外れてヘルメットを落下させる恐れがあります。
- 接続コネクタは、コネクタを持って確実に抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。
- 本製品を取り付けた状態でヘルメットを置く際は、本体に衝撃を与えないように注意してください。
- DT-01+ を走行中に操作しないでください。操作する場合は、安全な場所に止まってから操作してください。

 <p>法令違反</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国内以外で使用する場合、使用する国の電波法に従い利用してください。</li> <li>運転中の使用に関しましては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。</li> </ul>
 <p>水ぬれ禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水がかかる場所への放置や水没はさせないでください。本製品は防水性を考慮した構造となっておりますが、長時間にわたり水がかかる場所での使用はお控えください。また、濡れた手で接続端子等の脱着は行わないでください。本体の発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。</li> <li>浸水による故障は保証期間内でも保証対象外となります。</li> </ul> <p>※ 本製品の防水性能については弊社試験方法によるものであり、すべての状態において無破損・無故障を保証するものではありません。</p>
 <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児の手の届かない場所に保管してください。付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。</li> <li>部品の交換修理、補修部品の購入につきましては、販売店にお問い合わせください。</li> </ul> <p>※ 本製品の故障による代替品の貸出しは一切行っておりません。</p> <p>※ 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。</p>

## 内蔵リチウムイオン電池について

本製品の内蔵バッテリーにはリチウムイオン電池を使用しています。  
下記内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

### 危険

- 分解したり、改造しないでください。リチウムイオン電池には危険を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、リチウムイオン電池が発熱、破裂、発火の原因になります。
- ストープなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
- 火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウム電池に組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形したり、リチウムイオン電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 液漏れして目に入った場合は失明の恐れがありますので擦らずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。

警告

- 指定の電圧以外で使用しないでください。高い電圧が加えられるよことって過大な電流が流れ、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 電池から液漏れしたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。
- リチウムイオン電池は消耗品です。バッテリー動作の駆動時間が短くなった場合は寿命が考えられますのでご使用をおやめください。発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。
- リチウムイオン電池を廃棄したり、リサイクル BOX に出すときは、セロハンテープなどで電極をおおい、絶縁してください。電極が他の金属に触れると、発熱、破裂、発火の原因になります。
- リチウムイオン電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の規則に従って処理してください。

注意

- 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。
- 濡れた手でリチウムイオン電池を触らないでください。感電の原因となります。
- 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が上がり、低温やけどの原因となります。
- リチウムイオン電池を直射日光の当る場所、炎天下駐車の内など、高い温度になる場所で充電しないでください。  
(充電温度範囲：0℃～+45℃) 高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、怪我の原因となるため直ちに水で洗い流してください。また、機器に付着した場合は、ないで拭き取ってください。

## DT-01より音質が進化したDT-01+

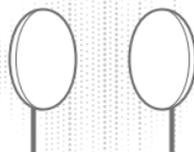
### 音質の向上

構造を見直し、音の鮮明さが向上。インカム通話や音楽再生時の音がクリアに。



### 高音質 スピーカー付属

スピーカーの振動板にシルクダイヤフラムを採用。耳に心地の良いやわらかな音色に。



### スマホ接続



### 音楽・通話の同時使用



### 音楽シェア



### 最大4人通話



### 叩いて操作



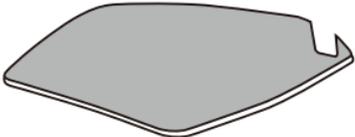
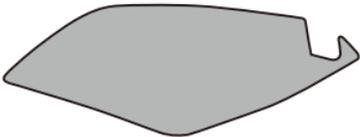
### カンタン通話発信

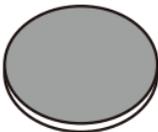
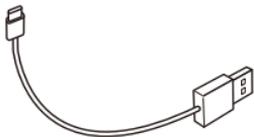


# 構成部品

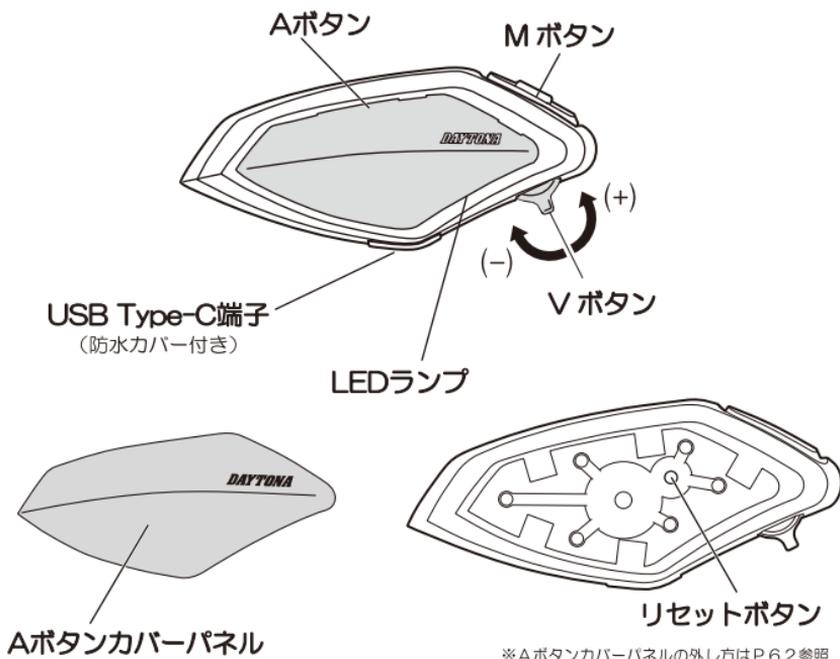
以下が商品の構成内容となります。最初に、全て揃っているかご確認の上ご使用ください。

※マイク、スピーカーには予め面ファスナーオスが貼られています。

	
<p>①本体ユニット X 1</p>	<p>②ベースプレート X 1</p>
	
<p>③ベースクリップ X 1</p>	<p>④ベースプレート保護用ラバー X 1</p>
	 <p>オス                      メス</p>
<p>⑤ベースプレート固定用両面粘着シート X 1</p>	<p>⑥ベースプレート固定用面ファスナー (オス、メス) X 1</p>
	
<p>⑦マイク (ブーム型) X 1</p>	<p>⑧マイク (ブーム型) 固定用面ファスナー (メス) X 1</p>

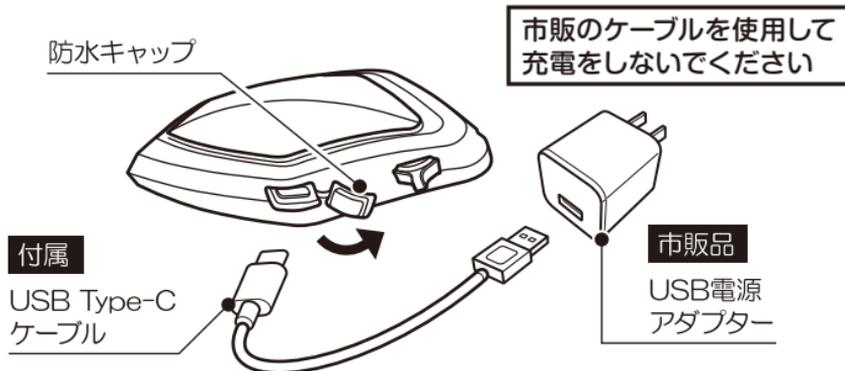
	
<p>⑨マイク（ケーブル型）×1</p>	<p>⑩マイク（ケーブル型）固定用 面ファスナー（メス）×1</p>
	
<p>⑪ヘルメットスピーカー×2</p>	<p>⑫スピーカー固定用 面ファスナー（メス）×2</p>
	
<p>⑬スピーカー位置調整用 パッド×2</p>	<p>⑭USB Type-C ケーブル×1</p>
	
<p>⑮アルコールクリナー×1</p>	<p>⑯取扱説明書（本紙）×1</p>

# 各部名称と機能



名称	機能
Vボタン	ボリューム調整、音楽の曲送り / 曲戻しに使用します。
Aボタン	インカムのペアリング、通話の開始/終了に使用します。
Mボタン	スマートフォンやレーダー探知機などのペアリング、スマートフォンの操作、音楽の再生/停止に使用します。
USB タイプC 端子	充電、パソコンとの接続に使用します。 (防水カバー付き)
LED ランプ	内蔵バッテリーの充電状態や各種操作の結果を表示します。詳しくは (P 6 4) 参照
A ボタンカバーパネル	黒色のパネルが標準装備されています。 ※オプションにてお好みの色に着せ替えることが出来ます。詳しくは (P 6 2) 参照
リセットボタン (強制終了)	ボタン操作できなくなった場合 (フリーズ) に使用します。詳しくは (P 6 0) 参照 ※ペアリング情報は削除されません。

## 充電を行う



- 本商品は本体にバッテリーを内蔵しています。
- 内蔵バッテリーを充電する際は、本体ユニットの防水キャップを外し、本体ユニット・付属のUSB Type-Cケーブル・市販のUSB電源アダプターをつなぎコンセントへ差し込んでください。
- 充電中はLEDランプが赤色点灯し、充電完了時は青色に変わります。
- バッテリー残量0%から100%までの充電時間は約2.5時間です。

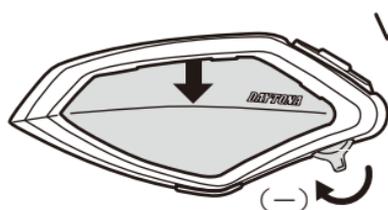
## ⚠ 注意

- 初めて使用するときは、必ず充電を行ってからご使用ください。
- 本商品にUSB電源アダプターは付属しません。市販のUSB電源アダプターをご用意ください。
- 充電時間は使用する充電器、バッテリー状態により異なります。
- USB Type-Cケーブルが挿し込みにくい場合があります。抜き挿しする際は、本商品の接続端子を破損させないようご注意ください。
- 充電完了(LED青点灯)のまま放置しないでください。バッテリーの寿命を縮める原因となります。

## 付属ケーブルの取り扱いについて

- 本商品に付属のUSB Type-Cケーブルは、本体充電またはファームウェアのアップデート専用です。他の用途に使用できません。
- 市販のケーブルを使用して充電をしないでください。
- 【充電できない場合】ケーブル保護のため、0.6A以上の電流がケーブルに流れると給電がストップし、LEDランプが消灯します。その場合は電源アダプターからケーブルを抜き、もう一度差し直してください。ケーブルを差し直しても充電がされない場合、機器の不具合の可能性があるので弊社までお問い合わせください。

# 電源のON/OFF



Vボタン(-)とAボタン  
長押し(約2秒)

## 電源ON

先にVボタンを(-)方向へ押しながらAボタンを約2秒間押し続けます。LEDランプが青色に点灯します。

※VボタンとAボタンを同時に操作すると電源が入りません。

本体



青色ランプ点灯

アナウンス



「●●モード」  
「電源が入りました」  
「バッテリー残量は●●%です」

## 電源OFF

先にVボタンを(-)方向へ押しながらAボタンを約2秒間押し続けます。LEDランプが赤色に点灯します。

本体



赤色ランプ点灯

アナウンス



「電源をきります。」  
「バージョン●●●」  
「バッテリー残量は●●%です」

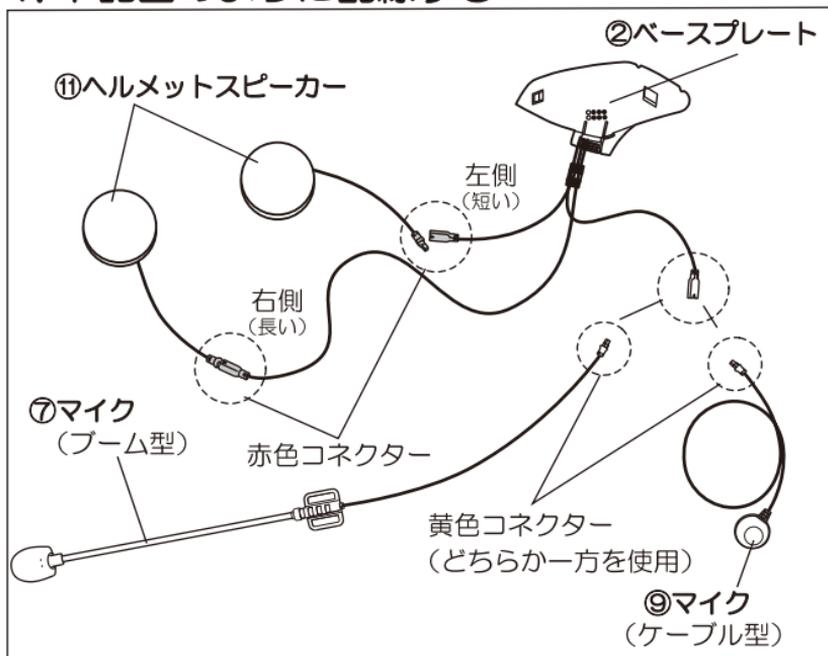
### ⚠注意

本体にはスピーカーが搭載されていません。アナウンスを確認するには、付属のベースプレートと付属のヘルメットスピーカーと組み合わせる必要があります。詳しくは「取り付け前の確認」(P16)参照

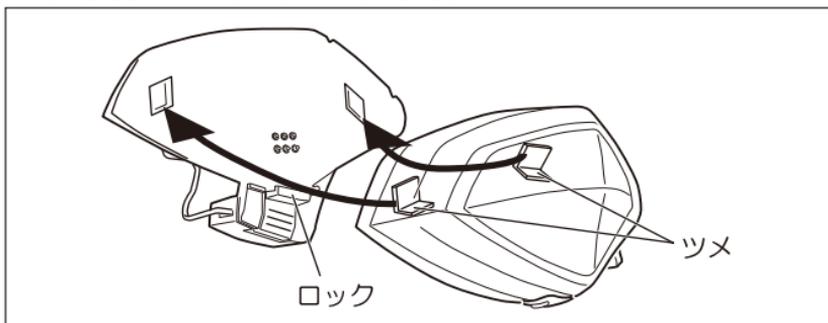
## 取り付け前の確認

ヘルメットに取り付ける前の事前確認を行います。実際にヘルメットで各パーツがどの位置になるのか、ケーブルの長さがどれくらいあるのか、正常に左右スピーカーから音が出るかをご確認ください。

### 1. 下記図のように配線する



### 2. 本体ユニットを取り付ける



本体ユニット裏側のツメをベースプレートの穴に合わせて差し込み、上方向にスライドさせながら、ベースプレート下部のロックにはめ込みます。

### 3. 電源をONにする

この時ヘルメットスピーカーから、現在のモード、「電源が入りました」、バッテリー残量、の順にアナウンスが流れます。

⇒「電源のON/ OFF」(P15)

#### ポイント

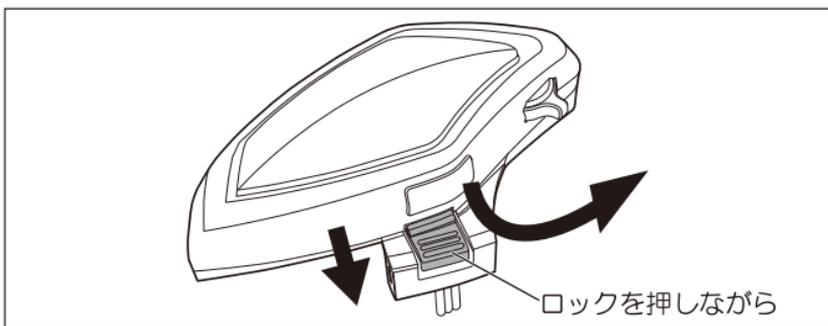
スピーカーを耳に当て音量を確認してください。この時の音量がヘルメット装着時でも同じになることが理想です。

### 4. 電源をOFFにする

この時ヘルメットスピーカーから「電源を切ります」、ファームウェアバージョン、バッテリー残量、の順にアナウンスが流れます。

⇒「電源のON/ OFF」(P15)

### 5. 本体ユニットを取り外す

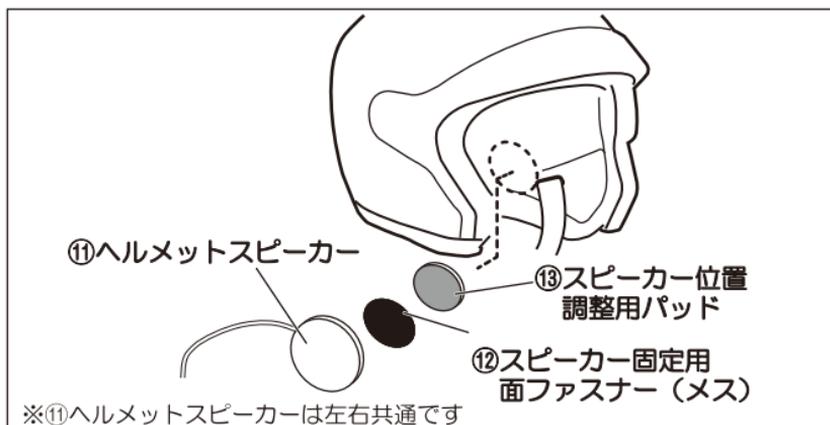


ロックを押しながら本体ユニット下方向にスライドさせるように手前に持ち上げて、ベースプレートから取り外します。

### 6. 本体から接続した配線を取り外す。

# ヘルメットへ取り付ける

## 1. スピーカーを取り付ける



- ① ⑪ヘルメットスピーカーが耳がくる位置にあてがい、ヘルメットを被りスピーカーの位置を確認します。
- ② ⑫スピーカー固定用面ファスナー（メス）をヘルメット内側に取り付けます。あご紐の付け根部分より上側の少し後ろ寄りを目安に貼り付けます。
- ③ ヘルメットによっては耳との隙間（距離）が広く音が聞き取りにくくなります。その場合は付属の⑬スピーカー位置調整用パッドも併せてご利用ください。
- ④ ⑪ヘルメットスピーカーを先ほど貼り付けた⑫スピーカー固定用面ファスナーへ取り付け、耳の穴の中心にスピーカーが来るように調整します。

※左右共に上記作業を行ってください。

### ポイント

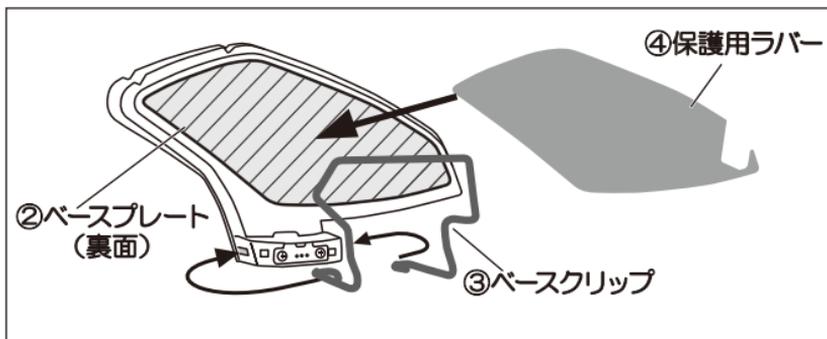
ジェットヘルメットなど、外部からの音が入りやすいヘルメットは、スピーカーの音声が聞き取りにくくなります。耳とスピーカーの位置が近いほど音質はよくなります。逆に遠くなると音質は悪くなります。最適な距離となるよう調整してください。

## 2. ベースプレートを取り付ける

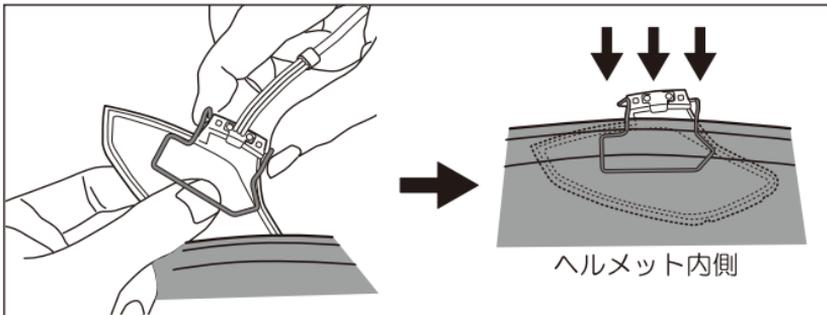
②ベースプレートの取り付け方法は3種類からお選びいただけます。マイクやスピーカーケーブルの取り回しを考慮して②ベースプレートの位置を決めてください。

※②ベースプレートはヘルメットの左側に装着してください。

### ベースクリップで取り付ける場合



- ④保護用ラバーを②ベースプレート裏面に貼り付けます。
- ③ベースクリップの先端を広げ②ベースプレートの取付穴に、奥まで確実に差し込みます。

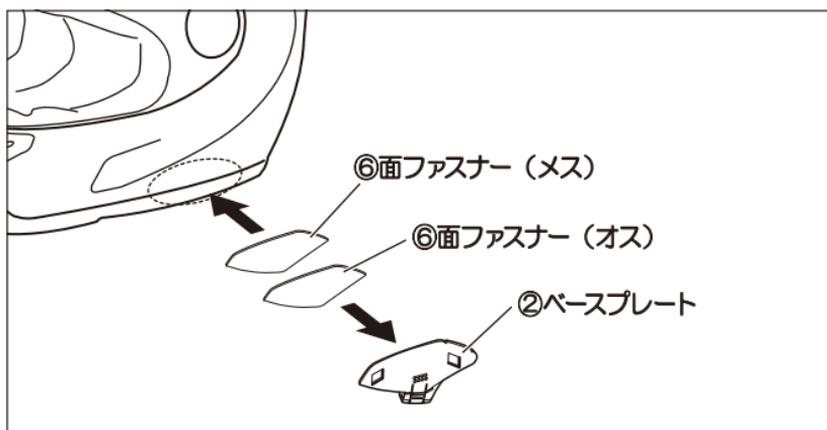


- ③ベースクリップを指で押し上げ、ベースプレートからケーブルが出ている部分をヘルメット縁に当たるまで押し込んでください。この時ヘルメット内側の部品と干渉しないように注意してください。

### ⚠注意

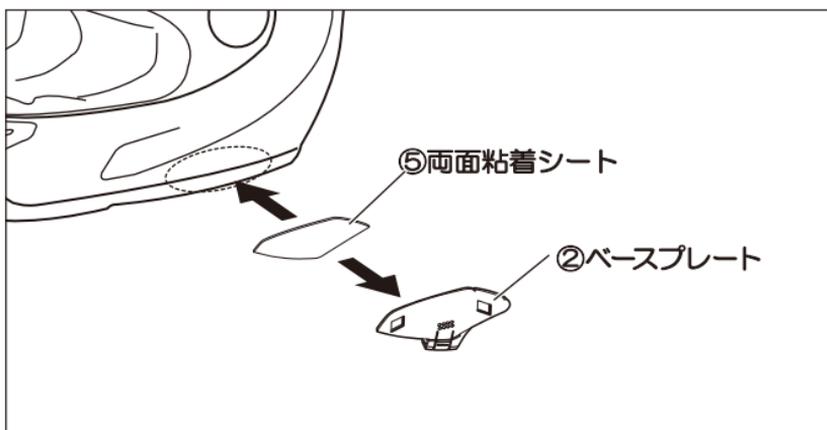
ベースプレートはベースクリップによってヘルメットに密着するように力が加わっています。ベースプレートを取り付ける際はヘルメットや内装パッドに損傷を与えないように注意してください。

## 面ファスナーで取りつける場合



- ① ヘルメット貼り付け面を⑮アルコールクリーナーで脱脂します。
- ② ⑥ベースプレート固定用面ファスナー（オス）を②ベースプレート裏面に貼り付けます。
- ③ ⑥ベースプレート固定用面ファスナー（メス）を先ほど②ベースプレートに貼り付けた（オス）にファスナーで貼り付けます。
- ④ ⑥ベースプレート固定用面ファスナー（メス）をベースプレートと一緒にヘルメットへ貼り付けます。

## 両面粘着シートで取りつける場合



- ① ヘルメット貼り付け面を⑮アルコールクリーナーで脱脂します。
- ② ②ベースプレート裏面に⑤両面粘着シートを貼り付けます。
- ③ 先ほど⑤両面粘着シートを張り付けた②ベースプレートをヘルメットに貼り付けます。

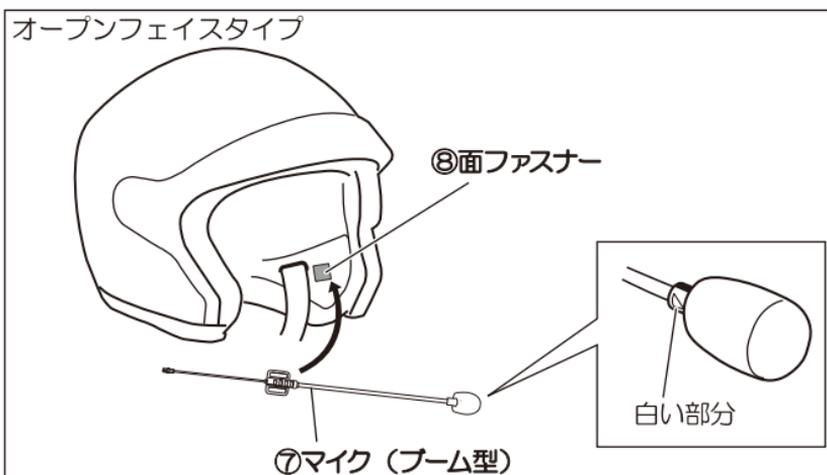
### ⚠注意

両面粘着シート貼付け後は12時間程度動かさないでください。

### 3 マイクを取り付ける

付属の「ブーム型」と「ケーブル型」の2種類からヘルメットの形状にあわせてマイクをお選び下さい。

#### ブーム型で取り付ける場合



- ① ヘルメットからチークパッドを取り外します。
- ② ヘルメット左側の内側に⑧の面ファスナーを貼り付け、⑦マイク (ブーム型) を取り付けます。
- ③ マイクの白い部分が口の方に向くように調整します。
- ④ 外したチークパッドを元通り取り付けます。
- ⑤ マイクの位置は、マイクがシールド内に収まるようにし、口元から1～2cmの位置に合わせます。

#### ⚠注意

⑦マイク (ブーム型) の位置を調整する場合は、マイクが外れる恐れがあるので、アーム部分を無理に曲げないようにしてください。チークパッドの取り外しが出来ないヘルメットは、ヘルメットの外側に付けて下さい。

## ケーブル型で取り付ける場合

### フルフェイスタイプ

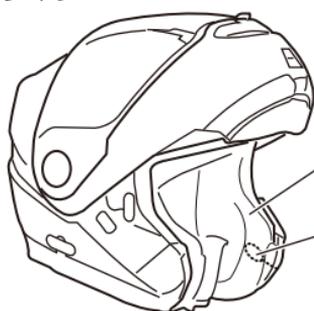
⑩面ファスナー



⑨マイク (ケーブル型)

- ① チンガードの口元に近い位置に⑩面ファスナーを貼り付け、⑨マイク (ケーブル型) を取り付けます。
- ② チークパッドとヘルメットの隙間にケーブルを収納します。

### システムタイプ



チークパッド

⑨マイク (ケーブル型)

- ① ヘルメットからチークパッドを取り外します。
- ② 取り外したチークパッドの布の中に⑨マイク (ケーブル型) を入れて、出来るだけ口元に近づけます。
- ③ 外したチークパッドを元通り取り付けます。

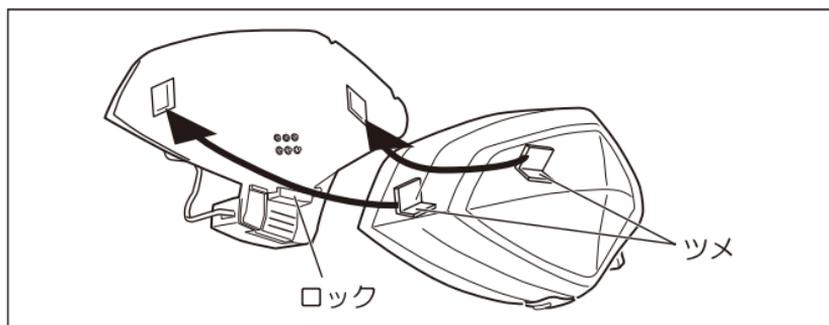
## 4. ケーブルを配線する

配線例



- 1 取り付け前の確認を行った時と同様に、ケーブルを配線します。  
⇒取り付け前の確認（P16）
- 2 ヘルメットのパッドを取り外し、ヘルメットとパッドの隙間にケーブルを収納します。

## 5. 本体ユニットを取り付ける



本体ユニット裏側のツメをベースプレートの穴に合わせて差し込み、上方向にスライドさせながら、ベースプレート下部のロックにはめ込みます。

以上でDT-O1+ の取り付けは終了です。

# ペアリングとは

## 1. ペアリングとは

インカム、スマートフォン、ナビ、レーダーといったBluetooth機器と登録を行うことです。一度ペアリングしたBluetooth機器は電源ON/OFFのたびにペアリングを行う必要はありません。



## 2. ペアリングした機器と接続する

実際に接続や通話をするには機器の種類に合わせた操作が必要です。実際のペアリング方法、接続、通話の方法は後述するページで詳しくご説明いたします。

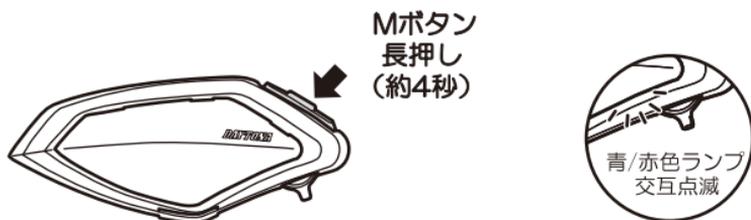
- スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする・・・P25
- DT-01+同士でペアリングする・・・・・・・・・・P27
- 他種/他社のインカムとペアリングする・・・・・・P34
- インカム通話を開始/終了する・・・・・・・・・・P40

# スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする

DT-01+は、スマートフォン、ナビ、レーダー、といったBluetooth機器と接続することが可能です。

## Bluetooth機器とペアリングする

- ① DT-01+の電源をONにします。⇒「電源のON/OFF」(P15)
- ② Mボタンを長押ししてペアリングモードにします。
- ③ ペアリングするBluetooth機器を、対象機器の説明書に従いペアリングモードにしてください。



※Mボタンがうまく押せていないと青色ランプが点滅し続けます。

## ポイント

- Gセンサー (P50) がONの場合は、Mボタンを押しながらヘルメットをたたく事でもペアリングモードにすることが可能です。
- ペアリングモードはキャンセルが可能です。長押ししたMボタンまたはAボタンを再度、長押ししてください。
- Bluetooth機器側のペアリング方法については、対象機器の説明書をご確認ください。

## ⚠注意

- Bluetooth機器を複数回ペアリングする場合はオールリセット (P60) を行ってください。
- Bluetooth機器のペアリングは、ペアリングモード (P27) に関係無く、どのモードでもペアリングが可能です。
- ペアリングモード中は、接続中のBluetooth機器 (DT-01+を含む) の接続が切れます。ペアリング完了後にDT-01+の電源を入れなおし、接続または通話開始を行ってください。

# スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する

ペアリング済みBluetooth機器との接続には、3種類の方法があります。

## 1. 自動接続

DT-01+は電源をONにすると、ペアリング済みのBluetooth機器を数秒間自動で探して接続を行います。

- ① ペアリング済みのBluetooth機器のBluetoothをONにします。  
⇒詳しくは対象機器の取扱説明書をご参照ください。
- ② DT-01+の電源をONにします。  
⇒「電源のON/OFF」(P15)

## 2. マニュアル接続

自動接続ができなかった場合、マニュアル操作で接続を行います。

DT-01+のMボタンを短く1回押します。

## 3. Bluetooth機器側の操作で接続

自動接続およびマニュアル接続での再接続ができなかった場合、Bluetooth機器側を操作して接続を行います。

Bluetooth機器側のBluetoothをONにして、登録機器リストの中から「DT-01(O1+)」を選択します。

⇒詳しくは対象機器の取扱説明書をご参照ください。

## ポイント

通常は1で接続します。接続できない場合に、2、3の方法をお試しください。Bluetooth機器と接続されると「接続しました」とアナウンスが聞こえます。

## DT-01+ 同士でペアリングする

DT-01+は、3つのペアリングモードを切り替えて、通話人数と機能を使い分けることができます。

※モードを切り替えた場合は、Bluetooth機器以外のペアリング情報が削除されます。再度ペアリングを行ってください。

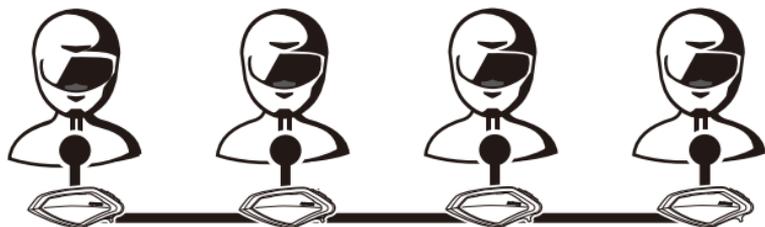
### ・2人モード 「通話人数2人」⇒ P28



1対1での通話に使用します。

ミュージックシェア (P48) をしながら通話を行なうことが可能です。  
DT-01/01+ 同士のみ2人モードを使用することが可能です。

### ・4人モード 「通話人数2～4人」⇒ P30



最大4人までのグループトークを行なうことが可能です。

バックグラウンドミュージック機能 (P46) を使用することが可能です。  
DT-E1/ E1+ とペアリングして使用が可能です。

### ・6人モード 「通話人数2～6人」⇒ P32



最大6人までのグループトークを行なうことが可能です。

DT-01/01+ 同士のみ6人モードを使用することが可能です。

バックグラウンドミュージック機能 (P46) が使用できません。

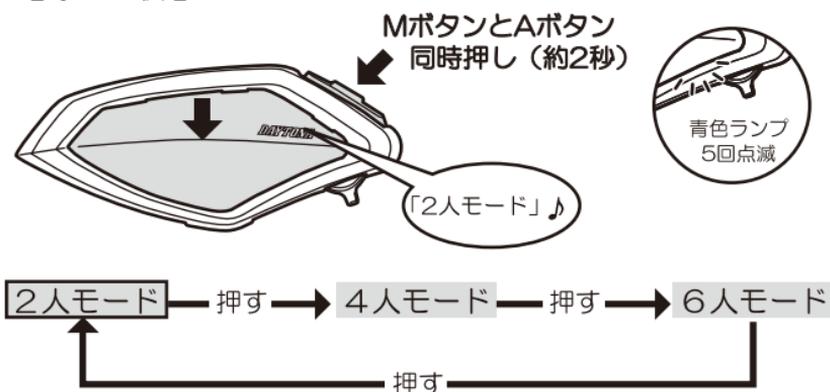
※レーダーやナビなど (HSPまたはHFPの機器に限る) はインカム通話を行いながら同時に音声案内を聞くことが可能です。

## 2人モードでペアリングする

### ① モードを切り替えます。

本体の電源がOFFの状態でもボタンを長押しし、それぞれのDT-01+を「2人モード」にします。

電源OFF状態で



### ② 電源を入れます。

先にVボタンを（-）方向に押しながら、Aボタンを長押しし、それぞれのDT-01+が電源をONにします。



### ⚠ 注意

- モードを切り替えた場合は、インカムのペアリング情報が削除されます。（Bluetooth機器は削除されません）再度ペアリングを行ってください。
- DT-E1/E1+は「4人モード」(P30)でペアリングを行ってください。

- ③ DT-01+のどちらか片方がMボタンを長押しし、ペアリングモードにします。続いてもう片方がAボタンを長押しし、ペアリングモードにします。

片方

Mボタン長押し  
(約4秒)

もう片方

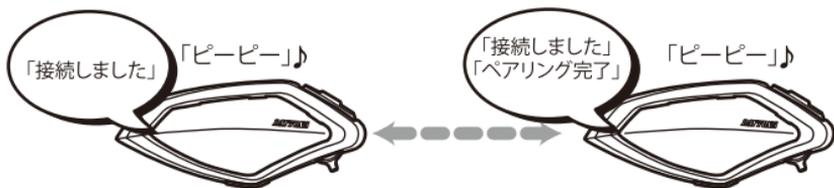
Aボタン長押し  
(約4秒)

## ポイント

- Gセンサー（P50）がONの場合は、MボタンまたはAボタンを押しながらヘルメットをたたく事で素早くペアリングモードにすることが可能です。
- ペアリングモードはキャンセルが可能です。操作したMボタンまたはAボタンを再度、長押ししてください。

- ④ 接続されるまで待ちます。

DT-01+ごとに「接続しました」とアナウンスが入ります。

ペアリング所要時間 約30秒

通話開始/終了の方法は（P40）をご覧ください。

## ⚠注意

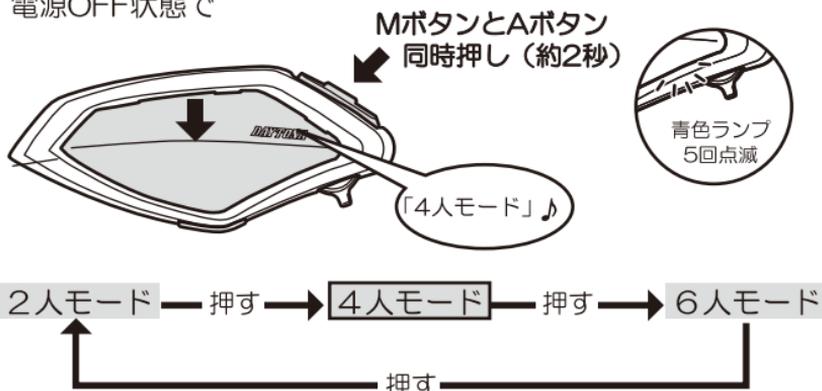
- 2回目以降ペアリングを行う際には、ペアリング情報のオールリセットまたはインカムペアリング情報のリセット（P60）を行ってください。リセットを行わずに新たにペアリングを行うと、ノイズの発生や、通信が不安定になるなどの原因となります。
- 近くに他のBluetooth機器やWi-fi環境があるような場所では、ペアリングに時間がかかったり、ペアリングできない場合があります。
- ペアリングモード中は、接続中のBluetooth機器（DT-01+を含む）の接続が切れます。ペアリング完了後にDT-01+の電源を入れなおし、接続または通話開始を行ってください。

## 4人モードでペアリングする

### ① モードを切り替えます。

本体の電源がOFFの状態でもMボタンとAボタンを長押しし、全てのDT-01+を「4人モード」にします。

電源OFF状態で



👉 ポイント

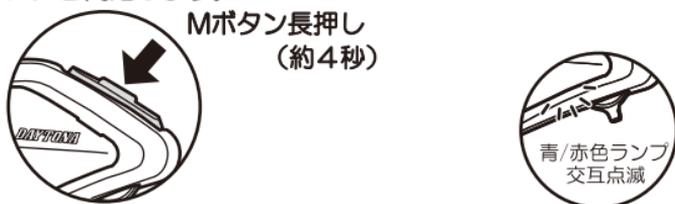
DT-E1/E1+とペアリングする場合も同様の操作でペアリングが可能です。その場合は、DT-01+のみ「4人モード」にしてください。

### ② 電源を入れます。

先にVボタンを(－)方向に押しながら、Aボタンを長押しし、全てのDT-01+ (DT-E1/E1+)が電源をONにします。



### ③ 一台以外のDT-01+ (DT-E1/E1+) がMボタンを長押しし、ペアリングを開始します。



⚠ 注意

- モードを切り替えた場合は、インカムのペアリング情報が削除されます。(Bluetooth機器は削除されません)再度ペアリングを行ってください。

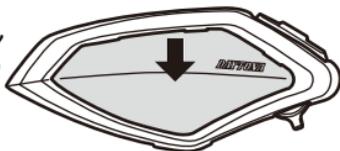
1台以外をペアリング開始

待機



④ 残りの1台がAボタンを長押しし、ペアリングを開始します。

Aボタン 長押し  
(約4秒)



待機

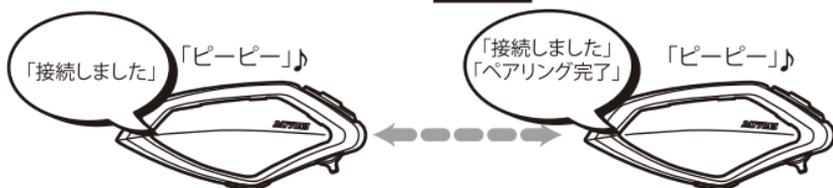


👉ポイント

- Gセンサー (P50) がONの場合は、MボタンまたはAボタンを押しながらヘルメットをたたく事で素早くペアリングモードにすることが可能です。
- ペアリングモードはキャンセルが可能です。長押ししたMボタンまたはAボタンを再度、長押ししてください。

⑤ 接続されるまで待ちます。

DT-01+ (DT-E1/E1+) ごとに「接続しました」とアナウンスが入ります。ペアリング所要時間 約60秒



通話開始/終了の方法は (P40) をご覧ください。

⚠️注意

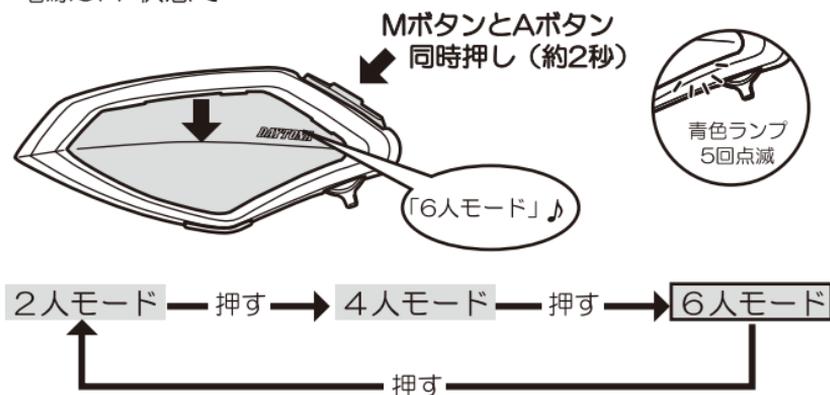
- 2回目以降ペアリングを行う際には、ペアリング情報のオールリセットまたはインカムペアリング情報のリセット (P60) を行ってください。リセットを行わずに新たにペアリングを行うと、ノイズの発生や、通信が不安定になるなどの原因となります。
- 近くに他のBluetooth機器やWi-fi環境があるような場所では、ペアリングに時間がかかったり、ペアリングできない場合があります。
- ペアリングモード中は、接続中のBluetooth機器 (DT-01+ を含む) の接続が切れます。ペアリング完了後にDT-01+ の電源を入れなおし、接続または通話開始を行ってください。

## 6人モードでペアリングする

### ① モードを切り替えます。

本体の電源がOFFの状態でもMボタンとAボタンを長押しし、全てのDT-01+を「6人モード」にします。

電源OFF状態で

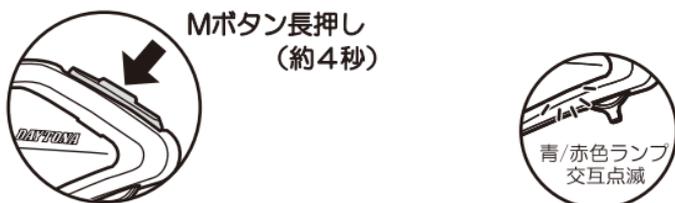


### ② 電源を入れます。

先にVボタンを(－)方向に押しながら、Aボタンを長押しし、全てのDT-01+が電源をONにします。



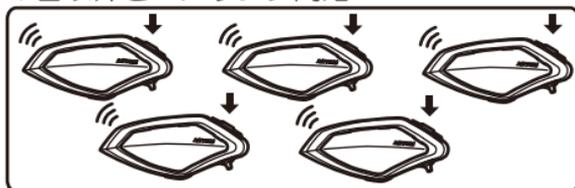
### ③ 一台以外のDT-01+がMボタンを長押しし、ペアリングを開始します。



### ⚠️ 注意

- モードを切り替えた場合は、インカムのペアリング情報が削除されます。(Bluetooth機器は削除されません)再度ペアリングを行ってください。
- DT-E1/E1+は「4人モード」(P30)でペアリングを行ってください。

1台以外をペアリング開始



待機

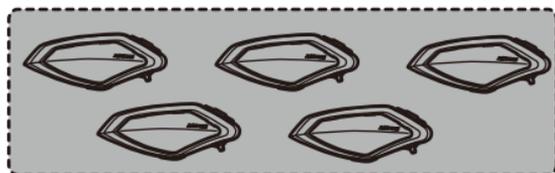


④ 残りの1台がAボタンを長押しし、ペアリングを開始します。

Aボタン 長押し  
(約4秒)



待機



ポイント

- Gセンサー(P50)がONの場合は、MボタンまたはAボタンを押しながらヘルメットをたたく事で素早くペアリングモードにすることが可能です。
- ペアリングモードはキャンセルが可能です。長押ししたMボタンまたはAボタンを再度、長押ししてください。

⑤ 接続されるまで待ちます。

DT-O1+ごとに「接続しました」とアナウンスが入ります。  
ペアリング所要時間 約150秒



通話開始/終了の方法は(P40)をご覧ください。

⚠注意

- 2回目以降ペアリングを行う際には、ペアリング情報のオールリセットまたはインカムペアリング情報のリセット(P60)を行ってください。リセットを行わずに新たにペアリングを行うと、ノイズの発生や、通信が不安定になるなどの原因となります。
- 近くに他のBluetooth機器やWi-fi環境があるような場所では、ペアリングに時間がかかったり、ペアリングできない場合があります。
- ペアリングモード中は、接続中のBluetooth機器(DT-O1+を含む)の接続が切れます。ペアリング完了後にDT-O1+の電源を入れなおし、接続または通話開始を行ってください。

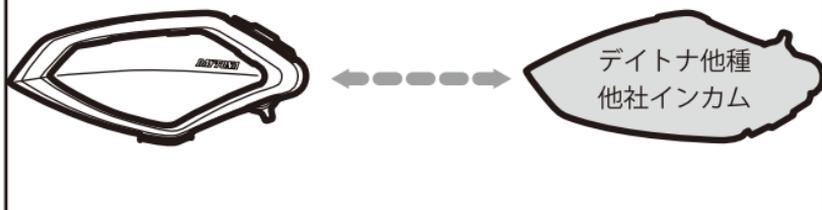
## 他種/他社インカムとペアリングする

DT-01+ 1台に対して、他種/他社インカムを1台まで接続することができます。DT-01+ 2台へそれぞれ他種/他社インカムを1台ずつペアリングし、最大で4台のインカム通話を行なうことが可能です。

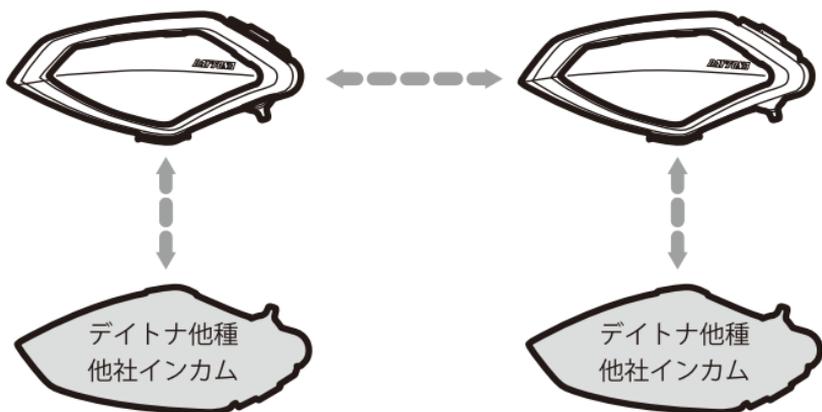
※他種インカム：COOL ROBO GT/GT2/EasyTalk3

※DT-E1/E1+と接続する場合は（P30）参照

他種/他社と1対1でつなぐ ⇒ P35



他種/他社と2対2でつなぐ ⇒ P37



※他種/他社インカムは、DT-01+を通して、通話を共有することが可能。

### ⚠注意

- 他社インカムとの接続・動作・通信距離・通話品質は保証いたしかねます。
- DT-01+は必ず「4人モード」にしてください。

# 他種/他社インカムと1対1でペアリングする

- 1 モードを切り替えます。  
本体の電源がOFFの状態でもボタンとAボタンを長押しし、DT-01+を「4人モード」にします。

電源OFF状態で



- 2 電源を入れます。  
先にVボタンを(－)方向に押しながら、Aボタンを長押しし、全てのDT-01+が電源をONにします。



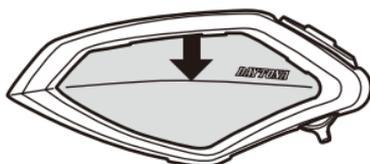
- 3 ペアリングする他種/他社インカムの電源をONにし、それぞれの説明書に従いペアリングモードにします。

## ⚠注意

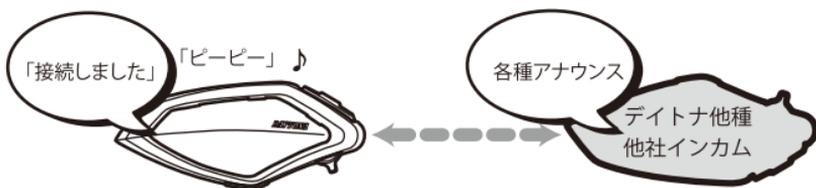
- モードを切り替えた場合は、インカムのペアリング情報が削除されます。(Bluetooth機器は削除されません)再度ペアリングを行ってください。
- DT-E1/E1+は「4人モード」(P30)でペアリングを行ってください。

④ DT-01+のAボタンを長押ししてペアリングモードにします。

Aボタン 長押し  
(約4秒)



⑤ 接続されるまで待ちます。DT-01+に「接続しました」とアナウンスが入ります。



通話開始/終了の方法は (P40) をご覧ください。

### 👉 ポイント

- Gセンサー (P50) がONの場合は、MボタンまたはAボタンを押しながらヘルメットをたたく事で素早くペアリングモードにすることが可能です。
- ペアリングモードはキャンセルが可能です。長押ししたMボタンまたはAボタンを再度、長押ししてください。

### ⚠️ 注意

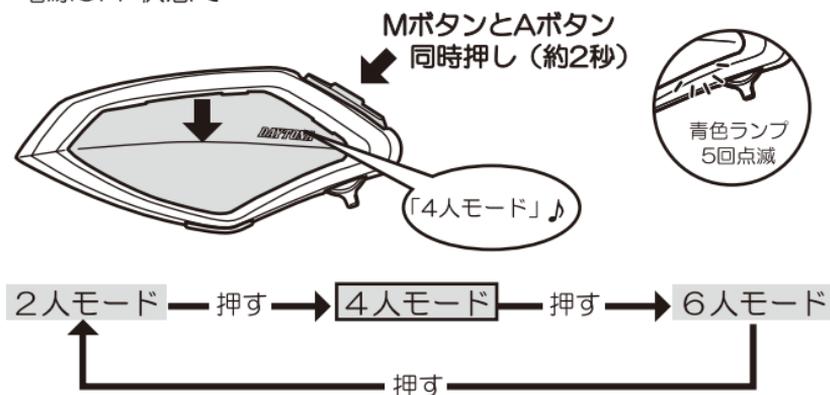
- 2回目以降ペアリングを行う際には、ペアリング情報のオールリセットまたはインカムペアリング情報のリセット (P60) を行ってください。リセットを行わずに新たにペアリングを行うと、ノイズの発生や、通信が不安定になるなどの原因となります。
- 近くに他のBluetooth機器やWi-fi環境があるような場所では、ペアリングに時間がかかったり、ペアリングできない場合があります。
- ペアリングモード中は、接続中のBluetooth機器 (DT-01+を含む) の接続が切れます。ペアリング完了後にDT-01+の電源を入れなおし、接続または通話開始を行ってください。

# 他種/他社インカムと2対2でペアリングする

## ① モードを切り替えます。

本体の電源がOFFの状態でもMボタンとAボタンを長押しし、2台のDT-01+を「4人モード」にします。

電源OFF状態で



## ② 電源を入れます。

先にVボタンを(－)方向に押しながら、Aボタンを長押しし、2台のDT-01+の電源をONにします。

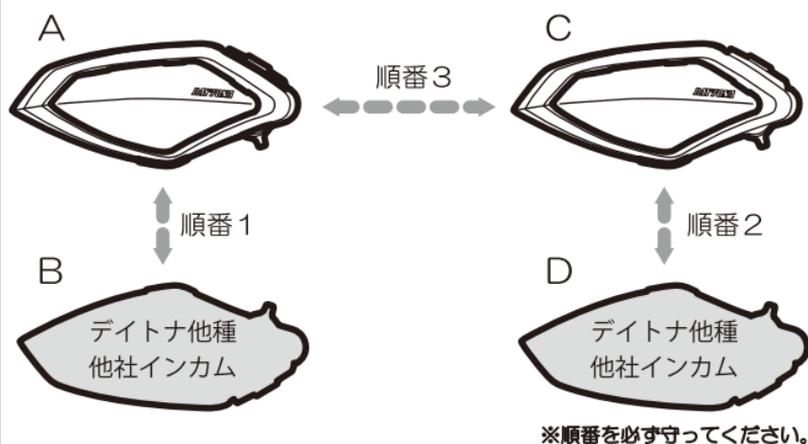


## ③ ペアリングする他種/他社インカムの電源をONにします。

### ⚠ 注意

- モードを切り替えた場合は、インカムのペアリング情報が削除されます。(Bluetooth機器は削除されません)再度ペアリングを行ってください。
- DT-E1/E1+は「4人モード」(P30)でペアリングを行ってください。

## ペアリング順序



- ④ DT-01+ (A) をペアリングモードにします。  
Aボタンを長押しし、ペアリングモードにします。



- ⑤ 他種/他社インカム (B) をペアリングモードにします。  
対象機器の説明書に従いペアリングを完了します。

- ⑥ DT-01+ (C) をペアリングモードにします。  
Aボタンを長押しし、ペアリングモードにします。

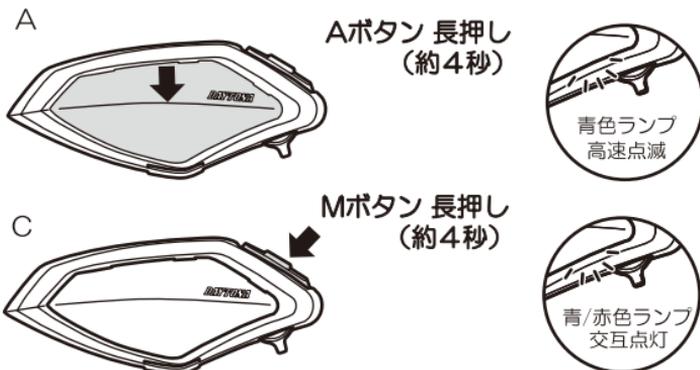


- ⑦ 他種/他社インカム (D) をペアリングモードにします。  
対象機器の説明書に従いペアリングを完了します。

## ⑨ DT-01+(A) とDT-01 (C) をペアリングします。

DT-01+(A) のAボタンを長押しします。

DT-01+(C) のMボタンを長押しします。しばらくすると「ペアリング完了」のアナウンスが流れます。



## ⑨ DT-01+ (A) (C) と他種/他社インカム (B) (C) で通話開始します。

DT-01+(A)とDT-01+(C)のAボタンを3回押します。

しばらくすると「接続しました」のアナウンスが流れ、4人で通話が始まります。



通話開始/終了の方法は (P40) をご覧下さい。

### 👉ポイント

- Gセンサー (P50) がONの場合は、MボタンまたはAボタンを押しながらヘルメットをたたき事で素早くペアリングモードにすることが可能です。
- ペアリングモードはキャンセルが可能です。長押ししたMボタンまたはAボタンを再度、長押ししてください。

### ⚠️注意

- 2回目以降ペアリングを行う際には、ペアリング情報のオールリセットまたはインカムペアリング情報のリセット (P60) を行ってください。リセットを行わずに新たにペアリングを行うと、ノイズの発生や、通信が不安定になるなどの原因となります。
- 近くに他のBluetooth機器やWi-fi環境があるような場所では、ペアリングに時間がかかったり、ペアリングできない場合があります。
- ペアリングモード中は、接続中のBluetooth機器 (DT-01+を含む) の接続が切れます。ペアリング完了後にDT-01+の電源を入れなおし、接続または通話開始を行ってください。

# インカム通話を開始/終了する

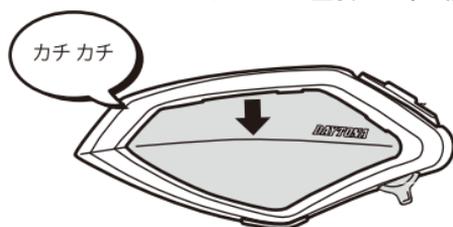
ペアリング済みのインカムと通話を開始するための操作です。

## 通話を開始する

### DT-01/01+ 同士の場合

ペアリング済みの1台のみAボタンを2回押します。「通話開始」とアナウンスが入ります。接続されるのをお待ちください。※DT-E1/ E1+ と通話を開始する場合も同様の操作方法です。

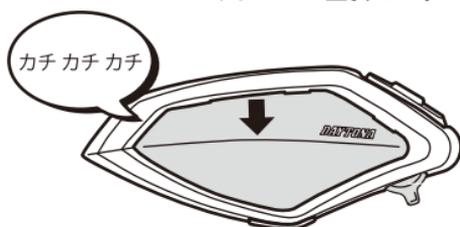
#### Aボタン 2回押し (1秒以内)



### 他種/他社インカムの場合

ペアリング済みの1台のみAボタンを3回押します。「通話開始」とアナウンスが入ります。

#### Aボタン 3回押し (1秒以内)



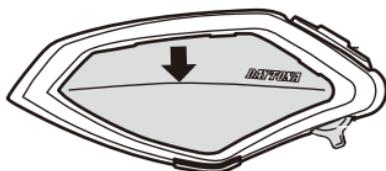
### 👉 ポイント

他種/他社インカムと2対2でペアリングしている場合は、(P38) ページの図を参考に DT-01+ (A) (C) がそれぞれAボタンを3回押し、他種/他社インカム (B) (C) と通話を開始します。その後DT-01+(A)がAボタンを2回押し、DT-01+(C)と通話を開始します。

## 通話を終了する

Aボタンを長押しします。「通話終了」とアナウンスが流れ通話が終了します。通話終了の操作はDT-O1/O1+ 同士(DT-E1/E1+)や他種/多社インカム共に同じです。

### Aボタン 長押し (2秒)



## 通話音量の調整

通話中にVボタンを短く(+)方向へ押すと音量が上がり、(-)方向へ押すと音量が下がります。

### 音量上がる



Vボタン (+)

### 音量下がる



Vボタン (-)

## 自動再接続

インカム通話中に距離が離れて通信圏外となった場合、下記アナウンスが流れます。通信圏内に戻ると自動で通話に復帰します。

- 1 「接続が切れました」、「通話を終了します」のアナウンスが入ります。
- 2 10秒以内に通信圏内に戻らない場合、「自動再接続に失敗しました」のアナウンスが入ります。
- 3 接続可能なインカムを探し続けている間「ピポ」というピーブ音が15秒間隔で聞こえます。

### ⚠注意

- 「通話開始に時間がかかる」「接続できない」「アナウンスを繰り返す」などの動作が不安定な場合は、通話を一旦終了させるか、電源を入れなおして通話を開始してください。
- 3人以上で通話している場合、通話人数が増減すると通話音量が変化する場合があります。その場合は音量を調整してください。

## 電話を使う

スマートフォンと接続することで、DT-01+で電話をすることができます。

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする」(P25)

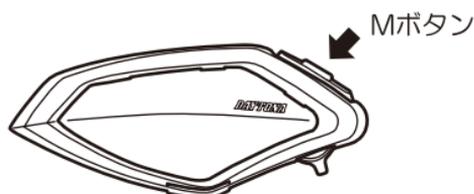
⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する」(P26)

### 操作方法

**電話に出る：** 着信音が鳴ったらMボタンを1回押して通話開始。

**電話を切る：** 通話中にMボタンを1回押す。

**着信拒否：** 着信音がなっている時に、Mボタンを長押し(3秒)



### 着信設定

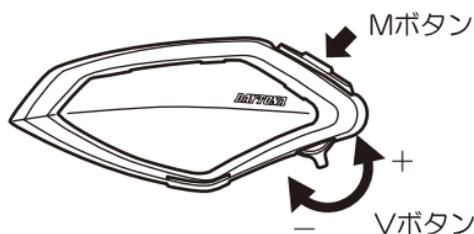
着信があったときに自動・手動のどちらで通話を開始するかを設定できます。

**手動着信設定：** 電源がONの時にMボタンとV(-)ボタンを同時に長押し(約8秒)

※工場出荷時設定

**自動着信設定：** 電源がONの時に、MボタンとV(+)ボタンを同時に長押し(約8秒)

※着信後10秒後に自動で通話が開始されます。



### ⚠注意

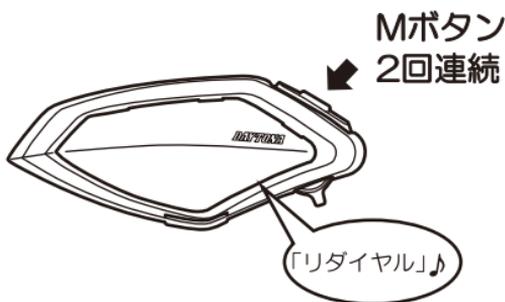
インカム通話中に電話に出た場合、一時的にインカム通話は終了し、電話が終了すると自動でインカム通話に復帰します。

## リダイヤル機能

スマートフォンの最終発信履歴に電話をかけることができます。  
※着信履歴からの発信はできません。

**リダイヤル：** Mボタンを2回連続で押す。「リダイヤル」のアナウンス後、5秒以内にもう1度Mボタンを押す。

※5秒以内にMボタンを押さない場合はリダイヤルがキャンセルされます。



## スピードダイヤル機能

パソコンであらかじめ登録した電話番号に電話をかけることができます。  
P56[スピードダイヤル設定]

※別途設定ツールが必要です。P51

**スピードダイヤル：** あらかじめ登録したスピードダイヤル番号に合わせてMボタンを3～5回押します。「スピードダイヤル1～3」のアナウンス後、5秒以内にもう1度Mボタンを押します。

※5秒以内にMボタンを押さない場合はスピードダイヤルがキャンセルされます。



# 音楽を楽しむ

DT-O1+では、スマートフォンなどに接続し、高音質なサウンドをワイヤレスで聴くことができます。

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする」(P25)

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する」(P26)

## 操作方法

**再生/一時停止**：Mボタンを一回押すごとに「再生」⇔「一時停止」が切り替わります。GセンサーがONの場合は、ヘルメットを1回たたく事でも同じ操作が可能です。



Mボタンを1回押すごとに  
「再生」  
↓  
「一時停止」

**音量の変更**：音楽再生中にVボタンを（+）方向へ短く押すと音量が上がり、（-）方向へ短く押すと音量が下がります。

**曲戻し/曲送り**：音楽再生中に、Vボタンを（+）方向へ約2秒間長押しすることで曲送り、（-）方向へ約2秒間長押しすることで曲戻しができます。GセンサーがONの場合は、ヘルメットを2回たたくと曲送り、3回たたくと曲戻しができます。

音量上がる/曲送り



Vボタン（+）

音量上げる：短く押す  
曲送り：約2秒間長押し

音量下がる/曲戻し



Vボタン（-）

音量下げる：短く押す  
曲戻し：約2秒間長押し

## ⚠注意

- ヘルメットをたたいての操作は「Gセンサー機能」(P50)をONにしてください。
- Mボタンを操作しても音楽が再生されない場合は、一度Bluetooth機器側で再生を行ってください。

## ナビやレーダーの音を聴く

ペアリング済みのバイクナビ、バイクレーダーの音声案内をDT-01+で聴くことができます。

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする」(P25)

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する」(P26)

### 操作方法

**音量の変更**：ナビやバイクレーダーで音声案内中にVボタンを(+)方向へ短く押すと音量が上がり、(-)方向へ短く押すと音量が下がります。

音量上がる



Vボタン (+)

音量下がる



Vボタン (-)

### ⚠注意

- ナビやレーダーによっては、DT-01+で音量調整ができない場合があります。その場合は、直接ナビやレーダーで音量調整を行ってください。
- ナビやレーダーの音声案内が聞こえない場合は、ナビやレーダー側で音声案内が開始されていることを確認してください。ナビやレーダーの詳細な操作方法については、対象機器の取扱説明書をご確認ください。

## バックグラウンドミュージック機能

音楽やナビゲーションの音声案内を聴きながらインカム通話をすることができます。

※「4人モード」(P27)のみ、この機能を使用することが可能です。

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする」(P25)

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する」(P26)

⇒「インカム通話を開始/終了する」(P40)

### 操作方法

- 1 ペアリング済みのスマートフォンまたはミュージックプレイヤーをDT-01+に接続します。
- 2 DT-01+のMボタンを1回押し音楽を再生します。



- 3 Aボタンでインカム通話を開始します。



### ポイント

- インカム通話を開始すると、バックグラウンドミュージック機能により、あらかじめ設定した音量になります。バックグラウンドミュージック機能を使用する場合は、あらかじめ音量を設定しておくことをお勧めします。⇒「A2DP音量設定」(P56)  
※別途設定ツールが必要です。(P51)

### ⚠注意

- Mボタンを操作しても音楽が再生されない場合は、一度Bluetooth機器側で再生を行ってください。
- 通話開始から数秒間の間、相手の声が聞こえない場合があります。
- 再生される音楽が断続的に途切れる場合は、再生を一度停止し再度再生してください。
- バックグラウンドミュージック機能使用中に、通信状態の影響により通話音声や音楽が乱れる場合があります。

## 「バックグラウンドミュージック」機能使用時の音量調整

バックグラウンドミュージック機能使用時に、インカム通話の音量とミュージックの音量のバランスをそれぞれ独立して調整することができます。

### 音楽の音量だけを調整したい場合

パソコンで「DT-O1設定ツール」の「A2DP音量設定」で音量を調整します。⇒「A2DP音量設定」(P56)  
※別途設定ツールが必要です。(P51)

### インカム通話の音量だけを調整したい場合

音楽を一旦停止し、通話のみの状態でVボタンを使用して音量調整をします。

### 音楽、インカム通話両方の音量を同時に調整したい場合

インカム通話中かつ音楽が聞こえている状態で、Vボタンを使用して音量調整をします。

## ミュージックシェア機能

スマートフォンまたはミュージックプレーヤーからDT-01+に再生されている曲を他のDT-01/01+と共有しながら会話することができます。

※「2人モード」(P27)のみ、この機能を使用することが可能です。

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする」(P25)

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する」(P26)



### 操作方法

- 1 ペアリング済みのスマートフォンまたはミュージックプレーヤーをDT-01+に接続します。
- 2 Aボタンを2回押して通話を開始します。



- 3 音楽プレーヤーまたはスマートフォンが接続されているDT-01+のMボタンを一回押します。「ミュージックシェア」とアナウンスが入り音楽がシェアされます。



ミュージックシェアを終了させる

音楽プレイヤーまたはスマートフォンが接続されているDT-01+ のVボタンを(－)方向に5秒長押しします。「ミュージックシェア終了」とアナウンスが入ります。



Vボタン(－)  
5秒長押し

## 「ミュージックシェア」機能使用時の音量調整

ミュージックシェア機能使用時に、インカム通話の音量とミュージックの音量のバランスをそれぞれ独立して調整することができます。

### 音楽の音量だけを調整したい場合

パソコンで「DT-01設定ツール」の「A2DP音量設定」で音量を調整します。⇒「A2DP音量設定」(P56)  
※別途設定ツールが必要です。(P51)

### インカム通話の音量だけを調整したい場合

音楽を一旦停止し、通話のみの状態でVボタンを使用して音量調整をします。

### 音楽、インカム通話両方の音量を同時に調整したい場合

インカム通話中かつ音楽が聞こえている状態で、Vボタンを使用して音量調整をします。

### ⚠注意

- ミュージックシェア開始から数秒間の間、相手の声が聞こえない場合があります。
- 再生される音楽が断続的に途切れる場合は、再生を一度停止し再度再生してください。
- ミュージックシェア機能使用中に通信状態の影響で音声や音楽が乱れる場合があります。

## 音声認識機能 (Siri)

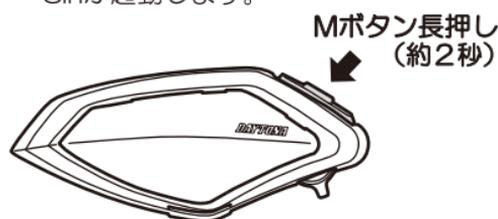
DT-O1+にiPhoneをペアリングすることにより、Siriを起動させ音声検索が使用できます。

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする」(P25)

⇒「スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する」(P26)

### 操作方法

- 1 ペアリング済みのiPhoneを接続します。
- 2 iPhoneが接続されているDT-O1+のMボタンを長押しします。  
Siriが起動します。



### ⚠注意

- インカム通話中は、通話を終了してから操作を行ってください。
- iOS のバージョンアップや設定により使用できなくなります。
- Android OS は未確認となります。
- 音声だけで (Siri) を起動することはできません。

## Gセンサー機能

DT-O1+はGセンサー(衝撃感知するセンサー)を搭載し、ヘルメットを軽くたたくことで各種操作を行うことができます。Gセンサーの感度は4段階で調整する事ができます。

⇒「Gセンサー設定」(P57)

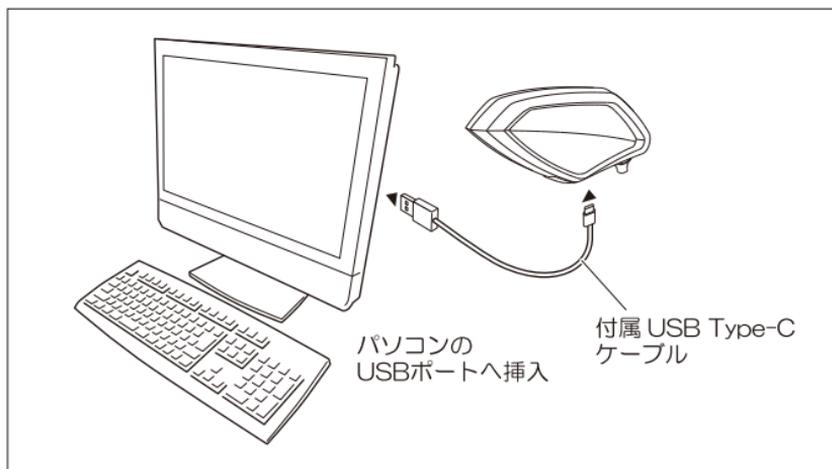
※別途設定ツールが必要です。(P51)

# ファームウェアアップデートと機能調整

弊社WEBサイトより「DT-01設定ツール」をダウンロードして、ファームウェアアップデートと機能調整を行うことができます。

(<https://daytona-talk.com>)

※設定ツールはDT-01とDT-01+共通です。



■設定ツールダウンロード	.....	P52
■ファームウェアダウンロード	.....	P53
■ファームウェアアップデート	.....	P54
■機能調整	.....	P56

<動作可能環境 OS：Windows7/10、インターネット接続>

**(Mac OS、Windows 8.0、8.1 はご利用できません。)**

(2020年9月現在)

# DT-O1設定ツールダウンロード

弊社WEBサイトにアクセスし、「DT-O1設定ツール」をダウンロードします。

- ① WEBサイト(<https://daytona-talk.com/dt01>)にアクセスします。
- ② ファームウェア&取扱説明書をクリックします。



- ③ 「DT-O1 設定ツールダウンロード」をクリックし、ダウンロードします。



- ④ ダウンロード後は、「ファームウェア&取扱説明書」のPROCESS.01手順に沿ってインストールを行ってください。詳細な記載がございます。

# ファームウェアダウンロード

弊社WEBサイトにアクセスし、最新ファームウェアをダウンロードします。

- ① WEBサイト(<https://daytona-talk.com/dt01>)にアクセスします。
- ② サイト上部のファームウェア&取扱説明書をクリックします。



- ③ 「上記使用許諾に同意し、最新版V●.●●●をダウンロード」をクリックし、最新ファームウェアをダウンロードします。



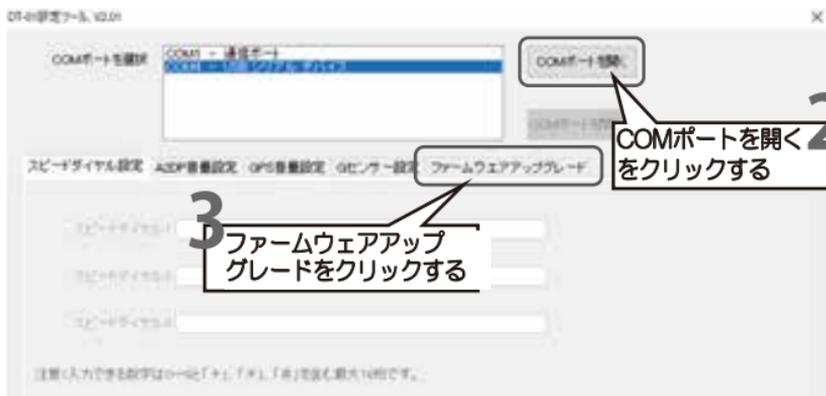
- ④ パソコンの指定ダウンロードフォルダに、ファイルがダウンロードされます。

# ファームウェアアップデート

DT-O1をパソコンへ接続し、インストールしたDT-O1設定ツール「DT-O1 Configure Tool」をダブルクリックすると設定画面が表示されます。下記の図の手順に沿ってアップデートしてください。

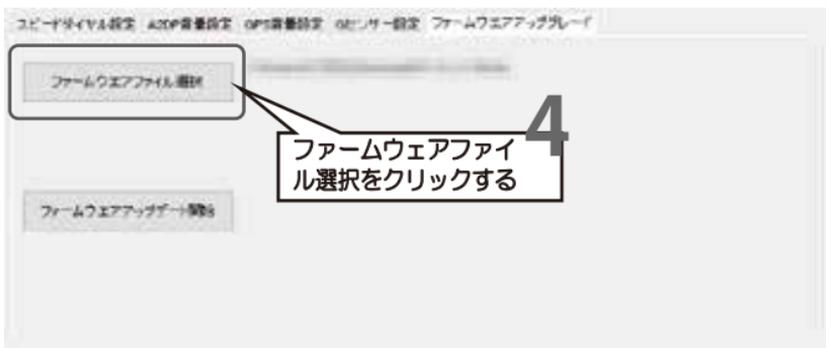


1  
「DT-O1 Configure Tool」  
をクリック

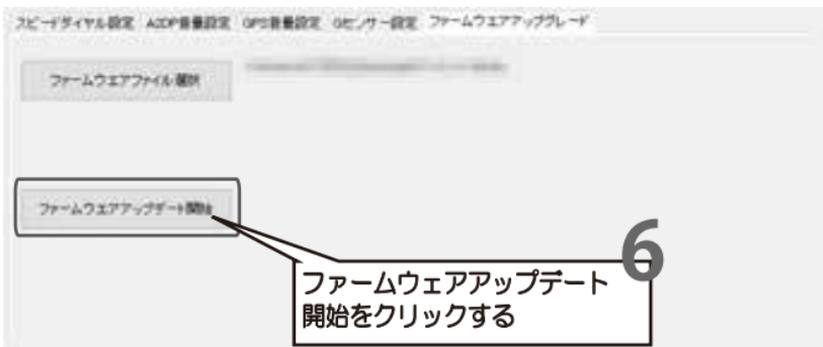
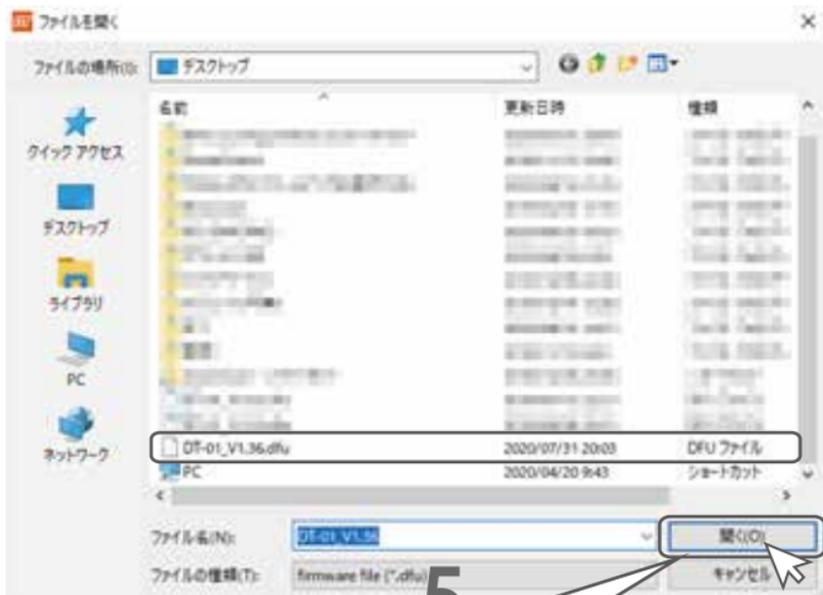


2  
COMポートを開く  
をクリックする

3  
ファームウェアアップ  
グレードをクリックする



4  
ファームウェアファイ  
ル選択をクリックする



アップデートが完了するまでお待ちください。所要時間約3分

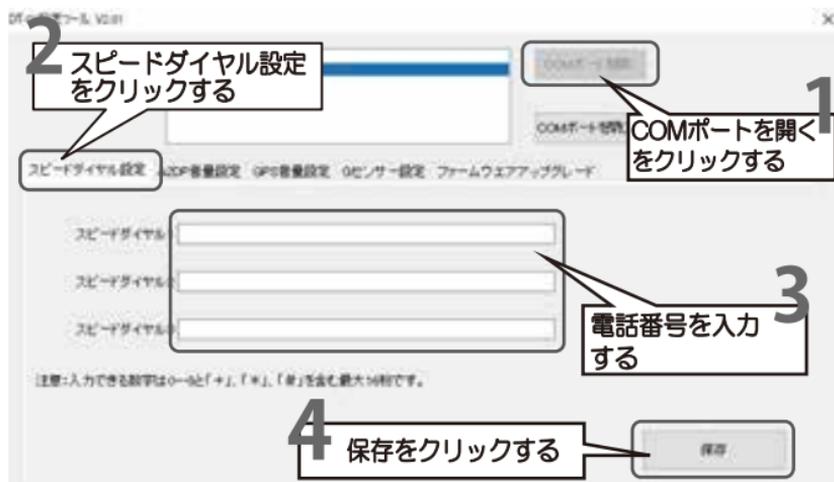
### ⚠️注意

- アップデート中は絶対に USB ケーブルを取り外さないでください。

## 機能調整

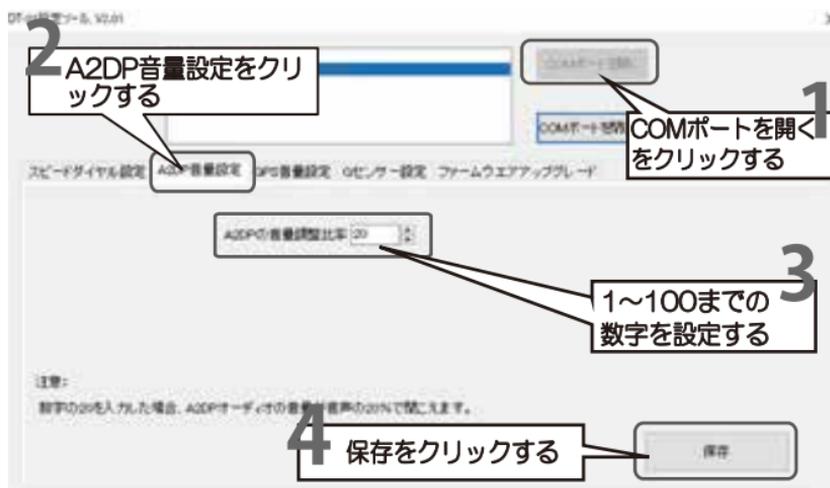
### スピードダイヤル

3件までの電話番号を登録することができます。  
※番号はハイフンなしで入力してください。



### A2DP音量設定

バックグラウンドミュージック機能の音量を調整することが出来ます。

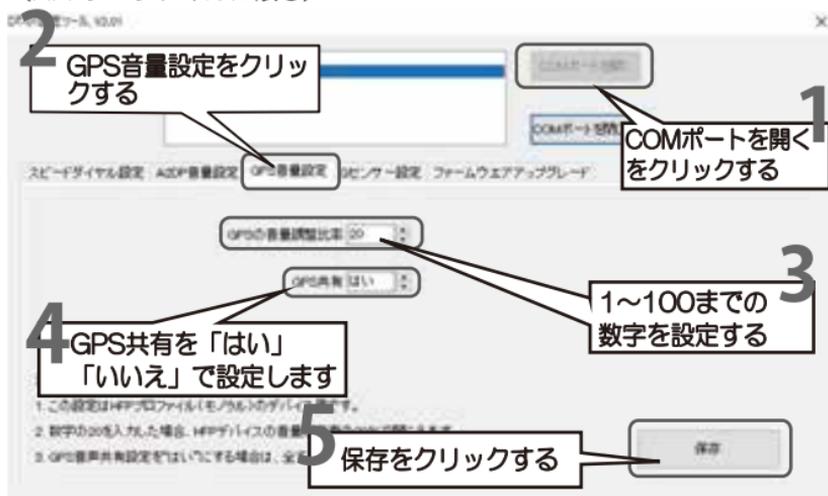


### 👉 ポイント

数字を20にした場合、音楽の音量がインカム通話音量に対して20%となります。

## GPS音量設定

インカム通話中のナビやレーダーの音量を調整することができます。  
(HFPプロファイルに限る)

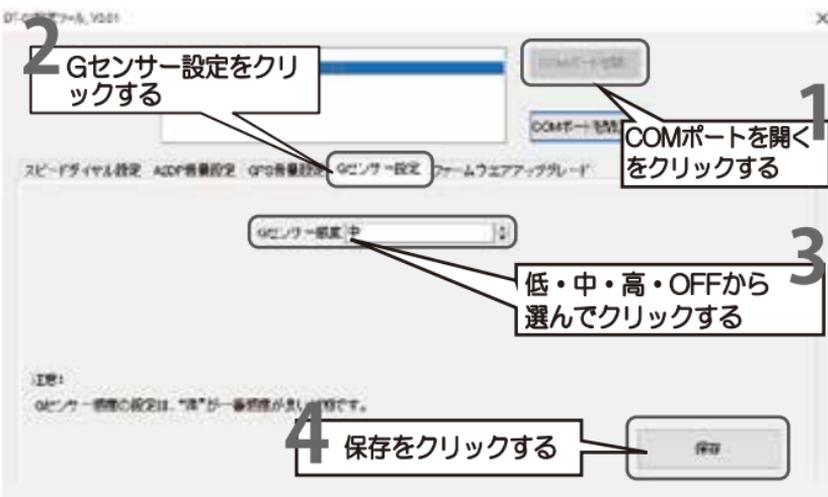


### ポイント

数字を20にした場合、ナビやレーダーの音量がインカム通話音量に対して20%となります。  
GPS共有を「はい」にするとペアリングしている他のインカムに音声案内が共有されます。

## Gセンサー設定

Gセンサーの感度を調節することができます。



## アナウンス音量の調整

「電源が入りました」「通話開始」などのアナウンス音量を調整できます。

- 1 電源がONの状態、Mボタンを長押しします。



- 2 Vボタンで音量調整を行います。

音量上がる



Vボタン (+)

音量下がる



Vボタン (-)

- 3 電源をOFFにして設定完了です。

### 👉 ポイント

- Vボタンを1回操作するごとに、「ピッ」と操作音がなります。上限または下限までいくと「ピー」という操作音がなります。

## バッテリー残量のアナウンス

電源を ON/ OFFすると内蔵バッテリーの残量を音声で案内します。

音声案内	内蔵バッテリーの状態
バッテリー残量はフルです。	約 12 時間程度使用可能です。
バッテリー残量は 80 % 以上です。	約 10 時間程度使用可能です。
バッテリー残量は 50 % 以上です。	約 5 時間程度使用可能です。
バッテリー残量は 約 25 % 以上です。	約 2 時間程度使用可能です。 充電してからの使用をおすすめします。
バッテリー残量は 約 10% 以上です。	充電が必要です。 充電を行ってください。
バッテリー残量は ゼロです。	充電が必要です。 充電を行ってください。

### ポイント

バッテリー残量が少なくなると、LEDランプが青色点滅から赤色点滅に変わり、ピープ音でもお知らせします。

# 各種リセット方法

## オールリセット

登録されている全てのペアリング情報を削除できます。

### 操作方法

電源OFFの状態、Vボタンを（+）方向へ押しながらAボタンを長押しします。

※「オールリセットしました」とアナウンスが流れます。

電源OFF状態で



### ポイント

接続が不安定な場合や音声ノイズが多い場合、オールリセットをすることで症状が改善することがあります。

## インカムペアリングリセット

モード変更を行うことで、インカムペアリング情報を削除できます。

※Bluetooth機器（スマートフォン・レーダー・ナビ）のペアリング情報は削除されません。

### 操作方法

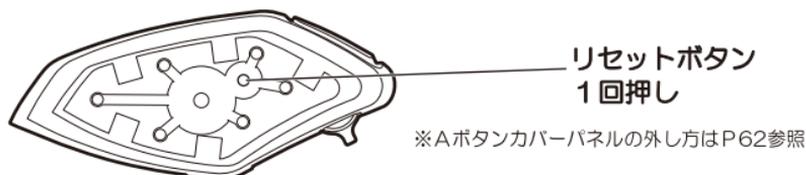
電源がOFFの状態、MボタンとAボタンを長押しします。

電源OFF状態で



## 強制終了

フリーズ状態となりボタン操作ができなくなった場合などに、強制的に本体の電源を切ることができます。



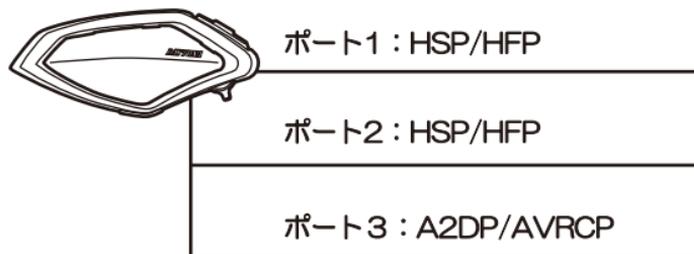
# プロフィールとは

プロフィールとは接続方式の名称です。DT-O1+ にスマートフォン・ナビ・レーダー・他社インカムといったBluetooth機器を接続する場合、下記の接続方式があります。

接続方式名	使用されている機器	主な用途
HSP/HFP	ナビ レーダー スマートフォン 他社インカム など	ナビの音声、レーダーの音声、スマートフォンの電話、他種/他社インカムとの通話など
A2DP/AVRCP	ナビ スマートフォン ミュージックプレイヤー など	ナビの音声、スマートフォンの音楽、アプリケーションの音声 ミュージックプレイヤーの音楽など

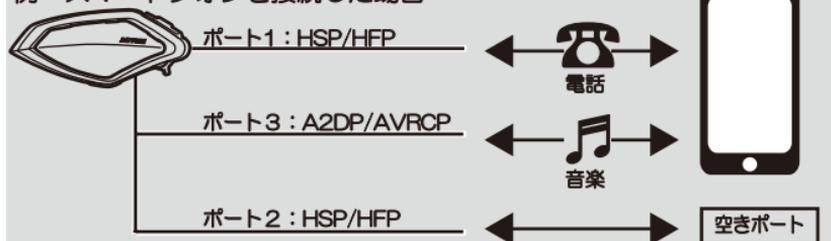
## DT-O1+ に同時に接続できるプロフィール数

DT-O1+ はHSP/HFPを接続できるポート(接続口)が2個とA2DP/AVRCPを接続できるポートが1個の、合計3個のポートがあります。



## ポイント

例：スマートフォンを接続した場合



※スマートフォンの場合、HSP/HFPとA2DP/AVRCPのポートを各一つ使用します。

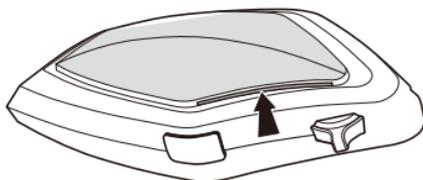
## 補修品・オプション

DT-01+をより快適にご使用頂くためのオプション品ならびに修理に使用する補修パーツをご紹介します。

商品名	商品番号
【DT-01+ 補修／オプション品】	
DT-01 オプションフェイスパネル ホワイト	96027
コンパクトスピーカー	24977

### Aボタンカバーパネル（フェイスパネル）の取り外し

Aボタンカバーパネルと本体の隙間（LED ランプ発光部）に、マイナスドライバーなどを傷が付かないように注意して差し込み、パネルを上側へ取り外します。



商品名	商品番号	構成部品 (丸番号は「構成部品」P.11、 P.12の項番を示します。)
【DT-01+ 補修品】		
ベースプレートセット	98219	②③④⑤⑥
ベースクリップ	17118	③
ベースプレート保護用 ラバー	17121	④ (2個)
ベースプレート固定用 両面粘着シート	17116	⑤ (5個)
ベースプレート固定用 ファスナー (オス、メス)	17115	⑥ (2組)
マイク (ケーブル型)	98220	⑨⑩
マイク (ブーム型)	98221	⑦⑧
マイク固定用面ファスナー (ケーブル型)	17120	⑩ (2個)
マイク固定用面ファスナー (ブーム型)	17119	⑩ (2個)
高音質スピーカー	24976	⑪ ⑫ ⑬ (2個)
スピーカー固定用面 ファスナー (メス)	17117	⑫(4個)
スピーカー位置調整 パッド	17879	⑬(4個)
USB Type-C ケーブル	98223	⑭
粘着シールセット	98225	③④⑤⑥⑧⑩⑫(2個) ⑬(2個)
DT-01 ケーブル型用 補修マイクスポンジ	98705	マイクスポンジ(1個) 粘着両面テープ ⑩
DT-01 ブーム型用 補修マイクスポンジ	98706	マイクスポンジ(1個) ⑧
DT-01 スピーカー 補修スポンジ	98707	スピーカースポンジ(2個) スピーカー固定用面 ファスナー(オス)(2個)

## LED 点灯パターンと操作

動作	LED	操作
モード変更	青：5回点滅	電源OFF状態でMボタンとAボタンを2秒長押し
電源 ON	青：点灯	V- ボタン とA ボタン長押し
電源 OFF	赤：点灯	V- ボタン とA ボタン長押し
Bluetooth機器 未接続待機状態	青：約3秒間隔 で2回点滅	—
Bluetooth機器 接続待機状態	青：約3秒間隔 で3回点滅	—
インカムペアリング (1台のみ)	青：高速点滅	電源 ON の状態で A ボタン 長押し (A ボタンを押しなが らたたく)
インカムペアリング (1台以外) Bluetooth機器とペア リング (スマートフォン・レーザー)	赤青：交互点滅	電源 ON の状態で M ボタン 長押し (M ボタンを押しなが らをたたく)
インカムペアリング 完了	青：約3秒間隔 で2回点滅 緑：1回点滅	—
電話着信	赤：高速点滅	M ボタン短押し (1回たたく)
電話通話中	青：約3秒間隔 で1回点滅	—
ミュージック再生	—	M ボタン短押し (1回たたく)
ミュージック停止	—	M ボタン短押し (1回たたく)
ミュージック曲送り	—	V+ ボタン長押し (2回たたく)
ミュージック曲戻し	—	V- ボタン長押し (3回たたく)
ミュージック再生中	青：約3秒間隔 で1回点滅	—
インカム通話開始	—	A ボタン2回押し (DT-01同士) A ボタン2回押し (他種/他社)
インカム通話終了	—	A ボタン2秒長押し

※カッコ内はGセンサーがONの場合の操作方法です。

動作	LED	操作
インカム通話中	青：2～3回点滅 緑：1～2回点滅	—
バックグラウンド ミュージック	青：1回点滅 緑：1回点滅	ミュージック再生後に A ボタン 2回押しでインカム通話開始
ミュージックシェア	青：1回点滅	インカム通話開始後に M ボタン 短押しでミュージック再生
ミュージックシェア 終了	青：3回点滅	V- ボタンを5秒長押し
オールリセット	赤：5回点滅	電源 OFF の状態で V+ ボタン と A ボタンを5秒長押し
充電中	赤：点灯	—
満充電	青：点灯	—

## 「故障かな？」と思ったら

使用中に異常が発生した場合は、弊社WEBサイトにアクセスしQ&Aをご確認ください。

- ① WEBサイト(<https://daytona-talk.com/dt01>)にアクセスします。
- ② サイト上部の「Q&A」をクリックします。



- ③ 症状に合わせて「Q&A」をご確認ください。



### よくある質問 : DT-01/01+

商品本体	音声/音量	音楽	通話
ペアリング	取り付け	付属品	アップデート

その他ご不明な点がございましたら、お求めの販売店または弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。

## 製品仕様

### ▶ インカム

本体寸法	L105mm×W46.5mm×H19.4mm
重量	52g
作動温度	-10℃~50℃
防水防塵性能	IP67相当
最大通信距離	1000m(1対1通話時)
最大通信人数	6人
最大連続通話時間	12時間
電源	充電式リチウムイオンバッテリー
電源容量	3.7V 760mA
充電端子	USB Type-C
充電時間	2.5時間
Bluetoothバージョン	Ver 5.0
Bluetooth送信出力	Class 1
Bluetoothコーデック	SBC.AAC
認証	TELEC

### ▶ スピーカー

スピーカーサイズ	φ40×D10.4mm
スピーカー振動板	シルクダイヤフラム
マグネット	ネオジウム
インピーダンス	32Ω

## さくいん

<b>A</b>	A2DP/AVRCP	61
	A2DP音量設定	56
	Aボタン	13
	Aボタンカバーパネル	13
	Aボタンカバーパネル取り外し	62
<b>C</b>	COOL ROBO GT/GT2/EasyTalk	34
<b>D</b>	DT-E1/E1+と接続する	30
<b>G</b>	GPS音量設定	57
	Gセンサー設定	57
<b>H</b>	HSP/HFP	61
<b>L</b>	LEDランプ	13
<b>M</b>	Mボタン	13
<b>U</b>	USB TypeCケーブル	12
<b>V</b>	Vボタン	13
<b>あ</b>	インカム通話の音量だけを調節したい	47、49
	インカムペアリングリセット	60
	オールリセット	60
	音楽の音量だけを調節したい	47、49
	音声検索	50
<b>か</b>	強制終了	60
	曲戻し/曲送り	44
	ケーブル型で取り付ける	22
	ケーブルを配線する	16、23
<b>さ</b>	再生/一時停止	44
	自動再接続	41
	自動接続	26
	自動着信	42
	手動着信	42
	スピーカーを取り付ける	18
	スピーカー位置調整用パッド	12
	スピーカー固定用面ファスナー (メス)	12
	スピードダイヤル機能	43
	スピードダイヤル設定	56
<b>た</b>	着信設定	42

## さくいん

た	電源アダプター	14
	動作可能環境OS	51
	同時に接続できるプロファイル	61
な	内蔵リチウムイオン電池	8
は	ビープ音	59
	ブーム型で取り付ける	21
	Bluetooth機器	25
	ベースクリップ	11
	ベースクリップで取り付ける場合	19
	ベースプレート	11
	ベースプレート固定用ファスナー（オスメス）	11
	ベースプレート固定用両面粘着シート	11
	ベースプレート保護用ラバー	11
	ヘルメットスピーカー	12
	防水カバー	13
	本体ユニット	11
	本体ユニットを取り外す	17
	本体ユニットを取り付ける	16
ま	マイク（ケーブル型）	12
	マイク（ケーブル型）固定用面ファスナー	12
	マイク（ブーム型）	11
	マイク（ブーム型）固定用面ファスナー（メス）	11
	マイクを取り付ける	21
	マニュアル接続	26
	面ファスナーで取り付ける場合	20
	モードを切り替える	30
ら	リセットボタン	60
	リダイヤル機能	43
	両面粘着シートで取り付ける場合	20

# 保証書 / Warranty Card

1:保証期間:保証修理の期間は、お買い上げいただいた日から1年間とします。

2:お客様にお守りいただく事項:当社商品を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ずお守り下さい。守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますのであらかじめ、ご了承ください。

(1)車両本体メーカー発行のサービスマニュアルに示された取扱い方法及び当社の取扱説明書に示す取付け・取扱い方法にしたがって使用すること。

(2)運行前点検および保守、整備を実施すること。

(3)定期交換部品、及び油脂類を指定どおり交換すること。

3:保証できない事項:

(1)次に示す事項は保証修理いたしません。

①経時変化あるいは使用損耗による不具合。

②一般に品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象。(音、振動、オイルのにじみ等)

③地震、台風、水害などの天災、事故、および火災に起因する不具合。

④煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合。

⑤法令に違反する改造及び当社が認めていない改造。(適合車種以外への取付等)

⑥通常の注意で発見処置できたにもかかわらず、放置したことにより拡大した不具合。

⑦前記2「お客様にお守りいただく事項」を守らなかったこと起因する不具合。

⑧浸水による故障

⑨本体ユニット以外の消耗品

(2)次に示す費用は負担いたしません。

①発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金、修理工賃、整備等の費用。

②商品を検査のためお預かりする際に発生する脱着工賃等。

③お車を使用できなかった事による不便さ及び損失等。(電話代、レンタカー代、運送代、機会損失等。)

④この保証書に示す以外の費用、補償等。

# 保証規定

## ■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。  
※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。  
個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。
3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を持って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



## ■保証修理のお受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



**転載禁止** 本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止



公式サイトはこちら  
[daytona-talk.com](https://www.daytona.co.jp)

東証スタンダード上場  
株式会社 **デイトナ**  
〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805  
<https://www.daytona.co.jp>